

# 2023 年度 日本心臓財団事業報告

## I. 個人研究に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 49 回日本心臓財団研究奨励

奨励金額：1 件 200 万円を 10 件

応募資格：1983 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：28 件

### 2. 第 4 回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成（I 基金）

助成金額：1 件 200 万円を 2 件

応募数：8 件

### 共 通

応募受付：2023 年 9 月 1 日～10 月 15 日

選考委員会：2024 年 1 月 19 日

決定通知：2024 年 1 月

贈呈：2024 年 3 月 10 日 第 88 回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて実施

選考委員	山本 一博	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学分野教授
	家田 真樹	筑波大学医学医療系循環器内科学教授
	泉 知里	国立循環器病研究センター心臓血管内科部門心不全科部長
	今井 靖	自治医科大学内科学講座循環器内科学部門教授
	辻田 賢一	熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授
	日比 潔	横浜市立大学医学部循環器内科学教授
	湊谷 謙司	京都大学大学院医学研究科心臓血管外科学教授
	南野 哲男	香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学教授
	安田 聰	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授
	渡辺 昌文	山形大学医学部内科学第一講座教授

## II. 研究者の留学費用に対する助成事業（別添対象者一覧参照）

### 1. 第 1 回日本心臓財団・日本循環器学会海外留学助成

循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成

助成金額：1 件 500 万円を 2 件

応募資格：満 40 歳未満で日本循環器学会に 5 年以上在籍

応募受付：2023 年 10 月 2 日～12 月 15 日

応募数：8 件

発表：2024 年 3 月 9 日 第 88 回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて実施

助成対象者：杉原 隆太（大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学）

武城 怜史（東京大学医学部附属病院 循環器内科）

## III. 学会および研究会に対する助成事業

### 1) 第 45 回美甘レクチャー（日本循環器学会特別招聘講演）

2024 年 3 月 9 日 第 88 回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて講演

### 2) 第 35 回日本循環器病予防セミナー

2023年7月29日、8月5日、6日、28日（web）8月19日、20日大阪開催。

3) 第7回日本心臓財団シンポジウム

2024年3月10日 第88回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて開催

IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究

- 1) 冠微小循環障害に関する全国多施設共同研究  
代表 下川宏明（国際医療福祉大学副学長）

2. 心不全に関する研究

- 1) 慢性心不全患者に対する薬物治療に関する実態調査  
代表 筒井裕之（国際医療福祉大学副学長）  
2) 慢性心不全治療において利尿薬が左室拡張能に及ぼす影響の検討  
代表 増山理（兵庫医科大学名誉教授）

3. 弁膜症に関する研究

- 1) 日本人における石灰化大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究  
代表 山本一博（鳥取大学医学部循環器内科学教授）

V. 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第49回日本心臓財団佐藤賞

2024年3月9日 第88回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて贈呈  
受賞者：伊藤 薫（理化学研究所生命医科学研究センター 循環器ゲノミクス・インフォマティクス研究チーム チームリーダー）  
研究主題：循環器多因子疾患のゲノム解析と精密医療の実現

2. 第12回「心臓」賞の贈呈

2024年3月9日 第88回日本循環器学会学術集会（会長：平田健一 神戸大学循環器内科学教授）にて贈呈  
受賞者：【症例部門】最優秀賞 茶谷龍己（倉敷中央病院 循環器内科）  
優秀賞 五味 遥（自治医科大学 小児科）  
大窪愛香（新潟市民病院 循環器内科）  
【研究部門】最優秀賞 中西一貴（東京大学医学部医学科）  
優秀賞 前田敏明（まえだ循環器内科）  
福田優人（川崎病院 循環器内科）

3. 第48回日本心臓財団草野賞

2024年3月8日、第49回日本脳卒中学会学術集会（会長：小笠原邦昭 岩手医科大学脳神経外科学教授）にて贈呈  
受賞者：杉本 至健（山口大学脳神経外科）  
研究主題：Spreading depolarization（拡延性脱分極）が脳虚血に及ぼす影響についての研究

4. 第38回日本心臓財団予防賞

2023年6月3日、第59回日本循環器病予防学会総会（会長：大石充 鹿児島大

学心臓血管・高血圧内科学教授)にて贈呈  
受賞者：足達寿(原病院院長)

#### 5. 第19回日本心臓財団小林太刀夫賞

2023年6月3日、第59回日本循環器病予防学会総会(会長：大石充 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授)にて贈呈  
受賞者：垂水市たるみず元気プロジェクトチーム  
研究課題：たるみず元気プロジェクト～多職種連携が織り成す健康リテラシーの向上～

#### 6. 第2回日本心臓財団研究褒賞

2023年8月4日、第4回健康ハート・シンポジウムにて贈呈  
受賞者：【基礎部門】山田 臣太郎(東京大学医学部附属病院循環器内科)  
【臨床部門】江本 拓央(神戸大学大学院循環器内科学分野)

### VI. 広報啓発事業

#### 1. インターネット等による心血管病関連啓発活動

##### 1) 日本心臓財団ホームページを中心とした活動

一般向けにはセカンドオピニオンによる相談をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及、講演会・健康イベントの案内を、医師・研究者向けには循環器最新情報、研究助成の募集案内等医学関連情報を提供。

ホームページアドレスは、<https://www.jhf.or.jp/>

年間アクセス数は、コロナ禍の中、基礎疾患や胸痛などの検索によるアクセス数が急増し、年間では1,266万件でした(Google Analytics)。

セカンドオピニオン相談数は年間870件。

##### 2) ACジャパン支援キャンペーン「EZ DO 検脈!」(心房細動の早期発見) TVCM、ラジオ、新聞広告、交通広告、ポスター

#### 2. 市民公開講座の共催および後援

##### 1) 市民公開講座「セゴどんプロジェクト」

(第59回日本循環器病予防学会との共催)

2023年6月4日(日)かごしま県民交流センター

##### 2) 市民公開講座「弁膜症」(榎原記念財団との共催)

2023年11月5日(日)新宿NSビル(ハイブリッド開催)

##### 3) 市民公開講座「循環器病後の豊かな生活を目指して」

(厚労省科研費研究班、榎原記念財団との共催)

2024年3月20日(水・祝)オンライン開催

#### 3. 「健康ハートの日」活動

本年度より、健康ハートの日キャンペーンを日本心臓財団、日本循環器学会、日本循環器協会、日本AED財団の4団体にて共催し、市民啓発運動の大きな柱とすることになった。本年は、「健康ハートウィーク2023」として、7月29日から8月10日までさまざまなイベントを実施した。人気サッカー漫画『キャプテン翼』(作・高橋陽一)の三杉淳(心臓病を持つ天才サッカー選手)をメインキャラクターとして使用し、スポーツと心臓病を中心に広く啓発活動を行った。

##### 1) 「健康ハートの日」サイト更新

<https://www.kenko810.com/>

日本心臓財団のホームページとは独立して作ったサイトをリニューアルし、イベントの告知や報告を行った。

- 2) Jリーグ・コラボイベント（味の素スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、他）  
30周年を迎えたJリーグとコラボし、6カ所のスタジアムにて啓発ビデオを上映し、Jリーグ試合前に啓発パンフレット等を配布した。
- 3) 第4回健康ハート・シンポジウム  
2023年8月4日に一般市民・メディアを対象に、「循環器病予防啓発の新たなキックオフ」と題して学士会館（東京・神田）にてシンポジウムを開催。
- 4) すごいぜ心臓「夏休み自由研究 ハートの応援団」  
2023年7月29日に小学生向けのオンライン授業を実施した。251名の小学生がオンライン参加した。
- 5) 全国でPUSH!  
2023年8月6日に大阪、奈良、オンライン会場をウェブでつなぎ講習会のほか、8月に全国各地で心肺蘇生法の短時間講習（PUSHコース）を実施した。
- 6) そのほか、医師を目指す若者向けオンライン番組配信、全国健康ハートライトアップ、全国保険薬局協力「血圧を下げよう」等を実施した。

#### 4. 禁煙推進活動

- ・2023年5月31日、厚生労働省主催2023年世界禁煙デー記念イベント後援。
- ・禁煙推進学術ネットワークの啓発活動支援。

#### 5. AED・心肺蘇生普及活動

- ・PUSHプロジェクト（AEDおよび胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動）の推進
- ・日本AED財団との連携推進

#### 6. 患者団体・予防活動団体への協力

日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をもつ親の会等事業への協力。

#### 7. 日本川崎病研究センター事業への協力

#### 8. 月刊誌「心臓」の発行（日本循環器学会との共同発行）

2020年1月号より、小室一成新編集委員長のもと新たな編集委員とともに誌面を大幅リニューアルし、本年度も様々な企画記事を掲載し発行しました。2023年2、4、5月号には海外留学の実際の番外編として、日本に来ている留学生に、日本での留学事情について執筆してもらいました。

#### 9. 機関紙の発行

心臓財団季報として年4回発行しました。

**令和5年度日本心臓財団研究奨励  
対象研究者**

**第49回日本心臓財団研究奨励**

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	網岡尚史 (38歳)	岡山大学病院 循環器内科 医員	アンギオテンシノーゲンに注目した脂肪肝形成機序とその動脈硬化への影響の解明
2	稻住英明 (38歳)	京都大学医学部附属病院 循環器内科 客員研究員	加齢が心筋の拡張能を低下させるメカニズムとその性差の解明
3	岩井雄大 (36歳)	国立循環器病研究センター 心臓血管内科冠疾患科 医員	数値流体解析を用いたシアストレスによるMINOCAの発生機序の解明研究
4	梅井智彦 (32歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 助教・大学院生	ヒト多能性幹細胞の代謝特性を利用した心臓発生研究の基盤構築と心不全治療への応用
5	沼田玄理 (38歳)	東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	核内GAPDH動態に着目した新規心不全メカニズムの解明
6	樋口諭 (39歳)	東京女子医科大学 循環器内科 助教	頻発する心房性期外収縮に伴う心房心筋症形成の病態解明
7	三木健嗣 (39歳)	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 特任講師	小児心臓検体を用いた新たなアプローチによる拡張型心筋症の病態解明と治療法の探索
8	山下侑吾 (38歳)	京都大学医学部附属病院 循環器内科 特定助教	遺伝疫学と臨床疫学の融合による静脈血栓塞栓症の個別化医療の実現を目指す研究
9	横川哲朗 (39歳)	福島県立医科大学 循環器内科 助教	細胞外マトリックス蛋白による肺高血圧症発症メカニズムの解明
10	吉田尚史 (36歳)	国立循環器病研究センター 研究所 研究室長	心房老化による心房細動マウスマodelの確立と脈不整が発する老化シグナルの同定

第4回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成（I基金）<sup>アイ</sup>

（五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円）

番号	氏名	所属	研究課題
1	塙本 藏 (51歳)	兵庫医科大学医学部 生化学講座 主任教授	Myotrope作用とサルコメア構造改善作用を有する心不全治療薬の開発
2	西山 崇比古 (43歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 特任助教	プライム編集を用いた拡張型心筋症への治療法の開発